

商工業の振興（施策3-1-1）

【目指す姿】

本市の活力ある中小企業等が国内外で広く活動し、地域経済が活性化しています。また、企業の立地、意欲のある事業者による起業・創業が活発に行われ、産業の高度化や雇用機会の拡大が実現しています。

《取組方針》

中小企業等の育成・振興

3111

本市経済の持続的な発展のため、国、香川県、経済団体、大学、金融機関等と連携・協力を図りながら、中小企業等の経営基盤の強化や人材の確保・育成、新分野への挑戦、創意工夫による経営革新などに対する支援を行います。

また、デジタル技術の進展など、経営環境の変化に対応できるよう、生産性の向上や経営課題の解決、新たなビジネスの創出などに取り組む中小企業等の支援を行います。

企業誘致・立地の推進

3112

企業立地を更に促進するため、各種助成制度の充実を図りながら、企業誘致専門員を中心とした立地手続等のワンストップサービスでの支援、東京事務所を拠点とした東京圏の企業に対する積極的な誘致活動などに取り組みます。

また、既に本市に立地している成長企業の定着を図るため、継続的な支援を行います。

起業・創業支援の充実

3113

起業・創業の拡大に向け、商工会議所や商工会、金融機関等と連携・協力を図りながら、経営に関する知識を習得するためのセミナーの開催や個別相談の実施など、起業・創業希望者に対する支援を行います。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
経営状況が安定している事業者の数 (法人市民税法人税割の対象法人数)	3,796件 (R4.2～R5.1)	3,950件 (R8.2～R9.1)	↑
法人市民税額(法人税割のみ)	4,877百万円 (R4)	6,929百万円	↑

【主な取組事業】

◎ 中小企業等成長促進事業

市内中小企業等の成長マインドへの意識変化や持続的な成長が促進されるよう、需要開拓や労働力不足、社会環境変化により生じた課題などへの対応に向けた意欲的な事業活動を支援します。

◎ 企業誘致による地域経済活性化促進事業

若い世代が魅力を感じる働く場を創出し、UJI ターンによる移住の促進にもつながるよう、香川県と連携し、東京圏を中心とした情報通信関連企業等の誘致に取り組みます。



企業立地の協定締結式



起業・創業に向けて開催する創業塾



農林水産業の振興（施策3-1-2）

【目指す姿】

優良な農地や森林、漁場環境等の生産基盤の維持と担い手の確保・育成により、持続的な農林水産業が営まれています。また、地元の農林水産物や職業としての農林水産業の魅力が広く認知され、活気のある産業となっています。

《取組方針》

生産体制の充実 3121

農業の担い手への農地集積を促進し、効率的な生産体制を整備するため、農地の区画整理や生産機械の導入、遊休農地の解消、鳥獣被害の防止などを推進します。

また、森林環境税を活用した森林の整備や林道の管理、稚魚放流や漁場環境の改善による水産資源の回復、漁業施設の整備を図ります。

生産振興と担い手の確保・育成 3122

農林水産業が魅力とやりがいのある業種となるよう、生産基盤を拡充し、新たな作付け品目の選定や先進的な生産技術の導入等による農業生産の安定化・高度化の支援、多様な人材が農業に積極的に関わる仕組みづくりを推進します。

また、林業、水産業についても、新たな技術者や事業者の確保・育成に取り組みます。

生産から販売、消費に至るまでの食料供給を持続可能なものとするため、環境負荷を低減させる環境保全型農業や水産資源の持続的利用に向けた資源管理を推進します。

地産地消の推進 3123

市内で生産された農林水産物が市民に選ばれ、消費の拡大につながるよう、小・中学校の給食時間やスーパーマーケットの店頭など、様々な機会を活用して、食材の地産地消、地元木材の活用方法等に関する情報発信を推進します。

また、農業体験教室や親子水産教室の開催、市民農園の利用促進などにより、地元の農林水産物に対する市民の理解の促進・愛着の醸成を図ります。

生鮮食料品等の流通強化

3124

市場施設の充実や物流機能の効率化、品質・衛生管理機能の高度化など、生鮮食料品等の流通を強化するため、青果棟と水産物棟の再整備を推進します。

また、農林水産物の安定的・効率的な取引と円滑な流通を通じて、市内食品産業を活性化させるため、卸売市場と食肉センターを適切に管理・運営します。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
市内の農業産出額	116.8億円 (R3)	124.5億円	↑
地元の食材を意識して購入している市民の割合	31.0% (R4)	38.0%	↑

【主な取組事業】

◎ スマート農業推進事業

AI、IoT・ロボット等の先端技術を活用することにより、農業経営における生産性を高め、収益力の強化を図るため、認定農業者や新規就農者等の農業経営の高度化に必要なデジタル技術の活用を支援します。

◎ 農福連携推進事業

農業を希望する障がい者等の活躍の場の創出・拡大を図るため、関係機関と連携し、農業者と社会福祉施設とのマッチングの促進や意識啓発に取り組みます。

◎ 卸売市場整備事業

生鮮食料品の流通拠点施設として、卸売市場の機能強化を図るため、現代の物流に対応したスペースの確保や適切な温度帯管理、環境負荷の低減等に対応した青果棟と水産物棟の再整備に取り組みます。



IoTを活用した水田の水位管理



青果棟の整備イメージ



就業環境の充実（施策3-1-3）

【目指す姿】

就業を希望する全ての人が、自らの知識や技能をいかして、それぞれの望む働き方で就業しています。また、働きやすく魅力ある就業環境が整備され、仕事と生活の調和が確保されています。

《取組方針》

就業支援の推進 3131

就職活動を行う学生等と人手不足分野の市内中小企業等とのマッチングを促進し、正社員としての雇用を希望する若者が地元で就職することができるよう、香川県やハローワーク高松、商工会議所と連携を図りながら、合同企業面接会を開催します。

また、就業者が、家庭の事情やライフスタイル等に応じて、希望する働き方を選択できるよう、就業希望者に向けて、育児や家族の介護を行いやすくするための休暇制度、心身の健康や安全の確保のための取組、働きやすい職場環境づくり等に関する地元企業の事例などの情報を効果的に発信します。

勤労者福祉の充実 3132

市内中小企業等の勤労者が働きやすい環境で就労し、豊かでゆとりのある生活を送ることができるよう、市内の中小企業等と連携し、個々の事業所では導入や充実が難しい福利厚生事業を行う「高松市中小企業勤労者福祉共済制度」への更なる加入促進に取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
正社員の求人数のうち充足された求人の割合 (正社員の充足率)	11.8% (R4)	15.8%	↑
国が実施する各種制度の認定企業数	63社 (R4)	79社	↑

【主な取組事業】

就業支援推進事業

働きやすい職場環境の構築やワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、地域の産業振興や本市施策への貢献度が高く優れた中小企業について、市民への幅広い周知に取り組みます。

中小企業勤労者福祉共済事業

中小企業勤労者の余暇の充実や働きやすい環境の整備、勤労意欲の醸成を図るため、福利厚生メニューの充実や各種給付金の給付により、人材確保を側面から支援し、市内の中小企業の振興に取り組みます。



かがわーくフェア（地元企業就職フェア）



フリーアドレスで働く人たち

高松ブランドの向上（施策3-2-1）

【目指す姿】

市民が本市に誇りや愛着を持ち、魅力を積極的に発信しています。また、本市の都市イメージが向上し、国内外から訪れたい、住んでみたいと思う人が増えています。

《取組方針》

シティプロモーションの強化 3211

本市の魅力を最大限に引き出し、本市の住みやすさ、にぎわいに更なる磨きをかけるため、瀬戸内海の美しい自然環境や讃岐うどんを始めとする食文化などの地域資源と映像コンテンツやSNS等の各種媒体を活用し、市民や企業と連携を図りながら、市内外への情報発信に取り組みます。

関係人口の創出・拡大 3212

本市出身の人や市外から本市で開催されるイベントに継続的・スポット的に参加する人など、色々な形で継続的に関わる関係人口の創出・拡大を図るため、高松ファンが集うファンコミュニティの運営やコミュニティに向けて本市の情報発信などに取り組みます。

また、多様なスキルや知見を有する市外の人が、それぞれの状況に応じて、担い手不足に悩む地域の活動に関わることができる仕組みを構築します。

特産品の育成・振興 3213

盆栽、漆器、石製品を始めとする本市の特産品の更なる振興を図るため、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出や販路の拡大、現代のニーズにマッチした商品開発に対する支援を行います。

また、特産品の新たな商品の開発や伝統的ものづくりの更なる促進、市内外に向けた積極的な情報発信を推進し、後継者の確保・育成に取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
地域ブランド調査における「魅力度」	110位 (R5)	92位	↑
交流拠点施設「高松盆栽の郷」における売上高	48,000千円(R4)	72,000千円	↑

【主な取組事業】

◎ シティプロモーション推進事業

本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図るため、本市の魅力を紹介する映像コンテンツの活用、東京圏を始めとした大都市圏でのプロモーション活動、官民連携による情報発信などに取り組みます。

◎ 東京事務所運営事業

本市が、多くの人が集まり、まちが元気になり、活力にあふれる、その好循環を繰り返すまちとなるよう、ヒト・モノ・情報が一極集中している東京において、多数の民間企業等と日常的に交流を図りながら、効果的な官民連携やシティプロモーションに取り組みます。

◎ 関係人口創出・拡大事業

東京圏を始めとした大都市圏からの交流人口、関係人口、移住者の増加につなげるため、関係人口コミュニティの運営、地域イベント等における関係人口の受入体制の構築などに取り組みます。

◎ 特產品・伝統的ものづくりブランド化推進事業

本市の特產品や伝統的ものづくりが高松ブランドとして、国内外に認知されるよう、普及・啓発や販路の拡大、未来の担い手の確保・育成などに取り組みます。

◎ 高松盆栽産地ブランド確立事業

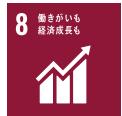
高松盆栽の振興・ブランド化を図るため、担い手・愛好者の育成や盆栽事業者と連携した高松盆栽のPR、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大などに取り組みます。



インフルエンサーによる情報発信



特產品の育成・振興(高松盆栽)



観光振興と交流の推進（施策3-2-2）

【目指す姿】

豊かな自然や文化遺産があり、市民の中におもてなしの精神が根付いた、観光・MICE都市として、本市が国内外で広く認知されています。また、本市に魅力を感じる多くの人が、国内外から繰り返し訪れています。

《取組方針》

観光資源の掘り起こしと磨き上げ 3221

国内外の観光客が何度も本市を訪れたくなるほど魅力的で、持続可能な観光地域づくりを推進するため、国や香川県、観光関連事業者等と連携を図りながら、屋島、塩江温泉郷等の観光スポットの活性化や瀬戸内の海の幸と山の幸をいかした多様な食のPRに取り組みます。

また、本市ならではの歴史や文化、自然を楽しめる地域資源を掘り起こし、観光資源として磨き上げた上で、観光客誘致を推進します。

おもてなし環境の充実 3222

誰もが快適に安心して本市に滞在し、満足することができるよう、多様なニーズに柔軟に対応し、質の高いサービスを提供することができる人材の育成や事業者のノウハウを活用した観光関連施設の運営、デジタル技術の活用、ユニバーサルデザインの普及促進、フードダイバーシティの理解促進などに取り組みます。

MICE誘致・都市間交流の推進 3223

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、香川県、大学、観光関連事業者等と連携を図りながら、サンポートエリアに集積されたMICE施設や本市の都市機能を有効活用した、MICE誘致を推進します。

また、市民の国際感覚の醸成や国内外の姉妹・友好都市等との相互理解を深めるため、親善研修生の相互派遣、交流イベントの開催などに取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
主要観光地の来訪者数	147万人 (R4)	151万人	↑
MICEの開催件数	111件 (R4)	190件	↑

【主な取組事業】

◎ 観光プロモーション事業

本市の認知度向上と交流人口、関係人口の増加を図るため、国内外に向けて、SNSを活用しながら、様々なメディアやインフルエンサーと連携した魅力の発信などに取り組みます。

◎ コンテンツツーリズム推進事業

映像コンテンツの舞台になった地域への来訪者を増やし、市内全域への経済効果を創出するため、地域資源を活用しながら、映像コンテンツのファンを本市へ呼び込む仕組みづくりに取り組みます。

◎ 屋島活性化推進事業

屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しながら、屋島の活性化を図るため、「屋島山上交流拠点施設（やしまーる）」を始めとした観光客受入環境の整備や屋島の魅力の発信に取り組みます。

◎ 温泉をいかした塩江地域の観光振興事業

豊かな自然がある塩江地域の持つ魅力を磨きながら、地域の活性化を図るため、温泉をいかした道の駅・温浴施設の整備に取り組みます。

◎ MICE・観光客誘致推進事業

交流人口の増加と、それに伴う地域への経済効果を創出するため、MICE開催に必要な機能の更なる充実、産学官連携によるMICE・観光客誘致活動に戦略的に取り組みます。



屋島山上交流拠点施設（やしまーる）



G7香川・高松都市大臣会合

定住人口の拡大（施策3-2-3）

【目指す姿】

「住みやすい 働きやすい 子育てしやすい」という本市の魅力が全国で認知され、移住者やUターン就職者が増加し、まちに活気が生まれています。また、本市で暮らす誰もが、このまちに住み続けたいと考えています。

《取組方針》

移住の促進

3231

本市が移住先として選ばれるまちとなるよう、本市の魅力や暮らしに関する情報発信を強化し、香川県、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成市町と連携を図りながら、特に移住を決断する上で最も重要な仕事の確保に向けた支援を行います。

また、「転職なき移住」、「二地域居住」等の柔軟な働き方や多様なライフスタイルに対応した移住を促進するため、テレワークを活用した移住に対する支援、移住体験の促進などに取り組みます。

定住の促進

3232

転入者が地域の一員として、円滑に地域社会で暮らせるよう、「たかまつ移住応援隊」と連携を図りながら、転入者が気軽に交流できる場を創出し、本市での暮らしに関する情報提供や相談対応に取り組みます。

また、県外の大学等に進学した本市出身の若者のUターン就職やその後の定着を促進し、20歳代の転出超過傾向を改善するため、大学卒業後の奨学金返還支援など、経済的負担を軽減する取組を推進します。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
20～39歳の県外への転出超過数	1,006人 (R4)	550人	↓
居住3年未満で50歳未満の市民の定住意向	61.0% (R4)	73.0%	↑

【主な取組事業】

◎ 移住促進事業

本市への移住者の増加を図るため、「住みやすい、働きやすい、子育てしやすい」という本市の3つの強みを移住希望者に効果的にPRし、きめ細かな相談対応や先輩移住者との交流機会の創出、移住支援金の交付など、幅広い移住サポートに取り組みます。

◎ 定住促進事業

県外の大学等に進学した学生のUターン就職を促進するため、奨学金返還支援による経済的負担の軽減など、若い世代が本市での居住や就業を検討しやすくなる環境づくりに取り組みます。



東京での移住フェア



移住者交流会



文化芸術の創造と継承（施策3-3-1）

【目指す姿】

市民の日常生活の中で文化芸術が根付き、誰もがいきいきと心豊かに暮らしています。また、世代を超えて、市内各地の文化財が大切に継承され、観光や教育などの様々な分野にも積極的に活用されています。

《取組方針》

「アート・シティ高松」の推進 3311

誰もが文化芸術に親しむことができる「アート・シティ高松」を実現するため、地域での文化芸術活動の普及やイベントの開催、文化芸術拠点施設の運営に取り組みます。

また、本市の文化芸術の更なる振興を図るため、文化芸術活動の後継者の育成や新たな人材の確保、デジタル技術を活用した創作・表現活動の支援などに取り組みます。

文化財の保存と活用 3312

文化財の価値の把握と次世代への継承を図るため、文化財としての価値の掘り起こしと保存管理を行います。

また、文化財の保存管理の担い手となる、所有者や地域のコミュニティ組織等への支援の充実に取り組みます。

さらに、文化財の価値を市民に広く周知するため、観光イベントや教育現場での活用、文化財学習会の実施、SNS・AR・VR等による魅力の情報発信を推進します。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
文化芸術イベントの参加者数	52,898人 (R4)	136,700人	↑
文化財施設の入場者数	358,830人 (R4)	360,000人	↑

【主な取組事業】

高松版文化芸術プラットフォーム構築事業

文化芸術活動の活性化を図るため、地域の文化芸術活動を発展させる地域アーツカウンシルを設置し、文化芸術活動の関係者が連携・協働するプラットフォームとしての機能の充実に取り組みます。

◎ 高松城跡整備事業

日本の三大水城の一つであり、城下町高松の顔・シンボルとなる特徴的な城郭を後世まで守り伝えるため、「史跡高松城跡保存活用計画」に基づき、披雲閣の耐震化やデジタル技術の活用によるガイダンス機能の強化などに取り組みます。



文化芸術のワークショップ



ライトアップされた桜御門
(史跡高松城跡・玉藻公園)



スポーツの振興（施策3-3-2）

【目指す姿】

多くの市民が、日常生活の中で気軽にスポーツに親しみ、健康で活力にあふれた生活を送っています。また、スポーツが、市内外から多くの人を集めるまちの新たな魅力となっています。

《取組方針》

スポーツに親しむ環境の充実 3321

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、市民が生涯に渡りスポーツに親しみ、楽しめるよう、スポーツに触れる機会の提供や情報発信に取り組みます。

また、市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに取り組めるよう、ファシリティマネジメントの視点を踏まえた、スポーツ施設の適切な維持管理や長寿命化、ユニバーサルデザイン化の推進などにより、スポーツ・レクリエーションを行う場所や機会を提供します。

スポーツを通じた地域の活性化 3322

本市を始めとする香川県内のにぎわいを創出し、地域・経済の活性化を促進するため、各種スポーツ団体等と連携し、誰もが気軽に参加できる市民参加型スポーツイベントの開催やスポーツ大会等の開催・誘致などに取り組みます。

また、スポーツを始めるきっかけづくりや交流人口の拡大を図るため、地域密着型トップスポーツチームへの支援、選手との交流イベントの開催などに取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
市有スポーツ施設の利用者数	1,918千人 (R4)	2,189千人	↑
市民参加型スポーツイベントの参加者数	10,230人 (R5)	20,000人	↑

【主な取組事業】

市民スポーツ活動推進事業

市民が様々なスポーツに関心を持つ機会や参加する場を提供し、スポーツの振興を図るため、スポーツ関係団体との更なる連携によるスポーツ教室・大会の開催、スポーツイベントの情報発信などに取り組みます。

パラスポーツ推進事業

障がい者のスポーツ人口の拡大と競技力の向上を図るため、スポーツ施設の環境整備やパラスポーツ大会の誘致、パラスポーツ体験会の開催などに取り組みます。



高松スポーツカーニバル



第29回日本パラ陸上競技選手権大会